

不戦へのネットワーク総会報告

2月20日、名古屋働く人の家において、2016年度総会と交流会を行いました。15年度の活動報告と16年度の活動方針、会計報告と予算案について、会員の皆さんに承認していただきました。

総会後は、辺野古支援コンサートを企画されている神戸郁夫さんからの最新の沖縄報告と交流懇親会を行いました。東京からは、「市民の意見30の会・東京」から高橋武智さんも参加していただき、挨拶をいただきました。

また、数多くの激励のおハガキありがとうございました。2016年もすでに1/4が終わりますが、7月の参議院選挙までは気を緩めるわけにはいきません。皆さまの熱いご支援のおかげで活動ができています。活動方針とみなさまから寄せてくださった声を紹介します。

今後の運動方針について

昨年9月、安倍政権は多くの反対を押し切って、安保法制＝戦争法を強行採決しました。今年7月の参議院選挙後は、「緊急事態条項」課題としてお試しの憲法改正の国民投票を行うとしています。また、国会答弁で戦力の不保持を宣言した憲法9条2項についての改憲も示唆しています。いよいよ改憲の動きが現実味を帯びてきたと言わざるを得ません。このような動きに対して、「安倍内閣の暴走を止めよう！共同実行委員会」「戦争をさせに1000人委員会あいち」、シールズ東海、デモスクラティアなど若者のグループ、怒れる女子会など広範な人たちが立ち上がり、その運動は戦争法の強行採決以後も継続されています。

沖縄辺野古の新基地建設も、沖縄の島ぐるみ（オール沖縄）での反対の意見を無視し、工事を強行しています。国と沖縄県との間で争われている裁判や、キャンプシュワブゲート前や海上での粘り強い阻止行動が続いています。ここで、辺野古の新基地建設反対の世論の喚起をするとともに現地行動にも出来るだけ参加をする必要があります。自衛隊の強化、武器輸出の解禁で、小牧基地の利用の実態は大きく変わる可能性があります。それを踏まえ、小牧基地の基地機能反対の運動とともに武器輸出、軍需産業についても取り組んでいく必要があると考えます。

1. 重点及び今後取り組んでいきたいこと

(1) 戦争法廃止、改憲反対に向けた取り組み

「安倍内閣の暴走を止めよう！共同行動実行委員会」（個人参加）、「戦争をさせない1000人委員会あいち」の運動に積極的・主体的に関わり、地域での運動の連携・強化を図っていく。また、独自の学習活動（講演会など）を行い、運動の質を高めていく。

(2) 沖縄

あいち沖縄会議へ参加し、辺野古の新基地建設、高江のヘリパット建設反対、普天間基地撤去の運動をしていく。辺野古の非暴力の闘いや、知事選・衆議員選挙の結果でも明白になったように、沖縄の民意は、辺野古の新基地建設反対である。沖縄の問題は日本政府、本土の民意のいかんにも関わっているということを意識し、沖縄会議とともに目標に向かって取り組んでいく。

具体的には・・・愛知で集会・デモ、街宣などを継続していく。また、大成建設や防衛支局、海上保安庁などへの抗議行動なども出来るだけ継続していく。沖縄現地行動に参加する。

(3) 小牧基地の基地機能強化反対の取り組み

一昨年出された防衛大綱の下での中期防衛力整備計画の中で、新空中給油輸送機3機の導入も盛り込まれています。また、隣接する三菱重工において、米軍の最新鋭戦闘機「F35」の修理・整備を行う可能性があることも報道されています。武器輸出三原則の撤廃で武器輸出、防衛産業の肥大化が進もうとしている中で、小牧基地の基地機能強化に反対する取り組みとともに、武器輸出反対などの運動も課題です。昨年、10月から毎月第4土曜日の小牧基地への申し入れ行動を行っているが、これを継続する。また、県に対する働きかけを行う必要がある。

(4) 日韓問題（戦争責任・戦後補償なども含めて）

「韓国併合 100 年東海行動」のメンバーとして、3 月には昨年末日韓両政府で「従軍慰安婦問題の最終合意」したとされる問題についての集会を持つ。また、秋にも集会を持つ予定。

(5) 反原発・脱原発

「未来につなげる・東海ネット」への参加団体として、原発の再稼働反対、福島原発事故の問題などを取り組んでいく。

(6) 名古屋 NGO センター

団体加盟として継続していく。5 月に行われる「伊勢志摩サミット」について取り組む。

(7) 平和のための戦争展や、サマーセミナーなど平和の問題を訴えていく場に積極的に参加する。

(8) 全国的なつながり。5 月に北海道で開催される「許すな！憲法改悪市民連絡会全国集会」に参加。

皆さんから頂いたメッセージの一部を紹介します。

■この日は東郷町で福島告訴団の講演会を予定していましたが、申し訳ありません。いつも貴重な情報ありがとうございます。(林)

■参加したかったのですが、当日大阪で多用があり参加できません。ご盛会を祈念します。(柿山)

■毎回の機関紙、また今回のご案内ありがとうございます。申し訳ありませんが、同時刻 YWCA にて責任を負っている東北震災支援の集まりがあり欠席させていただきます。種々、危機感を思いながら自分のもどかしさを感じています。皆様の動きに感謝。(宮内)

■他の会議と重なったため参加できません。先日も宜野湾市長選に行ってきましたが、闘いはこれからです。頑張りましょう。(大島)

■参院選、できるだけ野党は協力し、自民・公明の候補を落選させたいものです。(酒井)

■所用のため参加できませんが、いつも不戦へのネットワークの活動に敬意を持っています。これからも連帯して闘っていきましょう。(趙)

■沖縄からの報告、ぜひ聞きたいとおもいますが、土曜日は外出できないので残念ですが参加できません。またよろしくお願ひします。(三木)

■当日、法事が入ってしまい欠席申し訳ありません。参院選まであと 150 日。何としても(安倍)内閣を退陣させたいと思います。(伊藤)

■歩行が困難なため参加できません。瀬戸では個人のワゴン車に「憲法 9 条希望の星」と書いた車があり、9 のつく日に戦争関連法に反対する



アナウンスをして回ります。不戦ネットの通信はその時々の問題をアピールするのに役立っています。参院選に批判が集まるように頑張ります。(日方)

■市民活動にとって大変重要、不可欠な活動と考えています。それなのになかなか参加できずに残念です。(横井)

■この日は予定が入っていて残念ながら参加できません。また別の機会に、勉強会等参加できればと思っています。(鉄井)

■21 日は全国同時アクションに参加するつもりです。こちらの方は遠慮します。(早川)

■自民党の憲法草案のひどさを周囲の人に伝えたいです。沖縄の辺野古の現状も。(森崎)

■私にすれば不信ばかりの安倍政権。なのに世論調査での支持率は上がっています。先日の北朝鮮ミサイル発射時の自衛隊による防御配備、軍事予算の増大など着々と戦争のできる国に向かっていく気がします。何としても止めたいです。(伊藤)

■高齢で参加できません。平素はご苦労様です。この国の過去の負の歴史に眼を向けない政治家を選びたくありません。世の中安穏なれ。憲法護持せられんと！(吉田)



